

## 【対象：当院で経皮的冠動脈ステント留置術を施行された患者へのお知らせ】

当院では、近畿大学医学部奈良病院倫理委員会の承認を得て、「当院で留置した通常金属ステント（BMS）および薬剤溶出性ステント（DES）の長期成績についての臨床研究」を行います。

本調査研究は、当院で留置された各種冠動脈ステントの追跡結果を解析し、ステントごとに再狭窄等イベント発生に関連する因子について分析することを目的としています。より長期成績の良好な冠動脈ステントを使用することに役立てたいと考えています。

開院以来、当院で冠動脈ステント留置を施行し、その後半年以上経過して再度冠動脈造影検査にてステント留置病変の評価がなされた患者様を対象にします。

調査方法は優先度の高い順に、①診療録、シネフィルムの確認、②患者様への連絡、③紹介医への連絡によるものとします。なお、患者への直接連絡は該当施設での死亡（他科入院時も含めて）の無いことを確認した後に行います。患者様への連絡によりイベントの発生が疑われた場合には、担当医療機関に連絡をとり詳細を確認します。患者様への直接連絡は原則として担当医が行います。

当院での調査期間は1999年10月から2025年3月までの予定です。

1. 本研究は治療に関する介入はなく、人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。
2. 試験への不参加や、参加取りやめを希望される方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。情報は削除されます。

問い合わせ先：近畿大学医学部奈良病院 循環器内科 教授 城谷 学

TEL：0743-77-0880

FAX：0743-77-0890